

保健福祉分野での AI活用を中心として

10年後をイメージする

10年後の人口は？

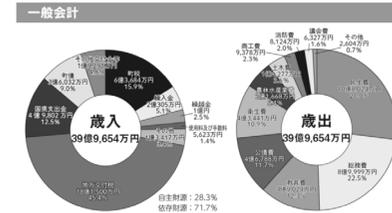
将来の男女5歳階級別推計人口（2015年は国勢調査による実績値）

男女計	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
総数	8022	7130	6285	5499	4756	4055	3429

予算規模はどうなる？

現在の神崎町と同程度に？

令和2年度鋸南町一般会計予算（町報きよなん令和2年4月号）

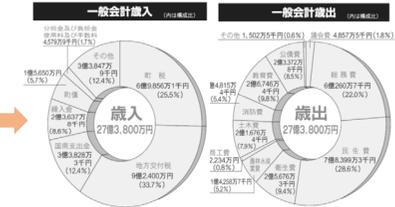


現在の人口

市区町村別人口と世帯（令和2年7月1日現在）

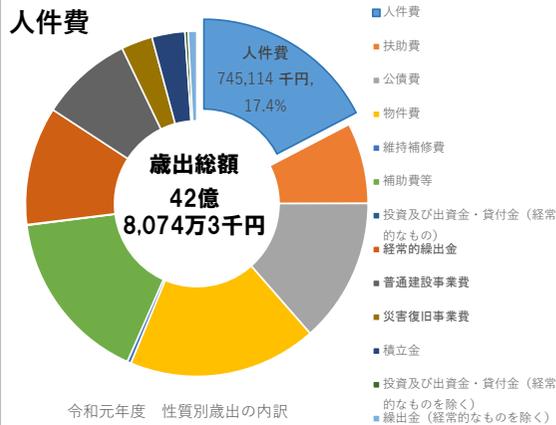
区分	人口			世帯数
	総数	男	女	
鋸南町	7,165	3,445	3,720	3,219
芝山町	6,959	3,443	3,516	2,552
御宿町	6,849	3,233	3,616	3,073
睦沢町	6,813	3,292	3,521	2,490
長柄町	6,728	3,303	3,425	2,610
神崎町	5,733	2,925	2,808	2,288

令和2年度神崎町一般会計予算（広報こうざき令和2年4月号）



□ 10億円以上の圧縮が必要！？

鋸南町の現状



参考：令和元年度地方財政状況調査

給与

平成30年度一般会計決算

1人あたり給与費：**534万円**

平成31年4月1日現在

職員の平均給与月額：**302,367円**

参考：町報きよなん令和2年3月号

鋸南町の現状

職員数

令和2年7月1日現在 **106人**（特別職を除く）

鋸南町定員管理計画では・・・

平成34年度（令和4年度）まで横ばい

年度	H30	H31	H32	H33	H34
定員管理計画目標値(人)	100	103	104	105	105
前年度比	▲1	3	1	1	0

鋸南町定員管理計画（平成30年～平成34年度）での職員数

定員回帰指標による定員数の粗い試算（規模別平均）

一般行政部門	2013年職員数(a)	減少率(%) (b)	2040年職員数(c)	差分(a)-(c)	【参考】人口減少率(%) (d)
都道府県	5,631	▲5.4	5,328	▲303	▲16.4
指定都市	4,600	▲9.1	4,181	▲419	▲9.2
中核市・施行時特別市	1,205	▲13.9	1,038	▲168	▲15.0
一般市（人口10万人以上）	616	▲13.4	534	▲82	▲16.7
一般市（人口10万人未満）	286	▲17.0	237	▲48	▲23.5
特別区	1,423	▲4.5	1,359	▲64	▲6.4
町村（人口1万人以上）	122	▲13.8	105	▲17	▲23.3
町村（人口1万人未満）	62	▲24.2	47	▲15	▲37.0

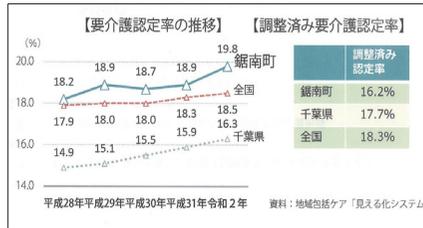
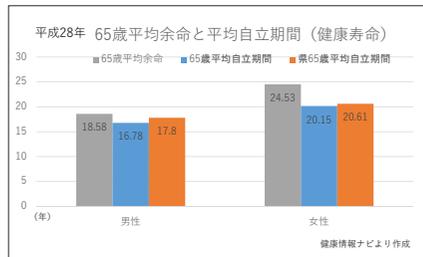
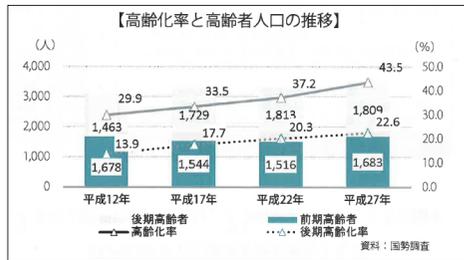
引用元：2040年頃までに想定される各行政分野の課題等について
URL：www.soumu.go.jp/main_content/000567449.pdf

自治体戦略2040構想研究会では、今以上に少ない人数での行政運営になると試算



人口減少に伴い職員数が減ることは不可避！！

鋸南町の現状



健康寿命をのばすために

健幸政策SWC-AI (SWC : Smart Wellness City)の導入

生涯にわたり健やかで幸せに暮らせるまち（**健幸**なまち）

▶ 「健幸」をまちづくりの中核に位置付ける

▶ 高齢化・人口減少が進んでも持続可能なまちづくりが可能

◇健康に関心のある層だけでなく、**住民全員の参加**を目指す

◇健康維持・社会参加するためのしくみづくり

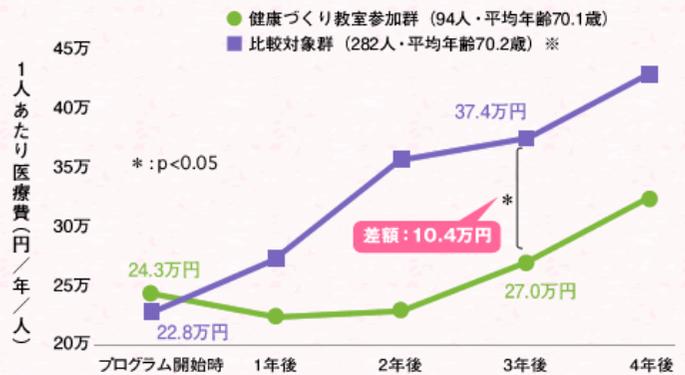
◇住民の日常の身体活動量を増加させる

→ 生活習慣病や寝たきりの予防 →

**健康寿命の延伸
医療費の削減**

新潟県見附市での導入事例

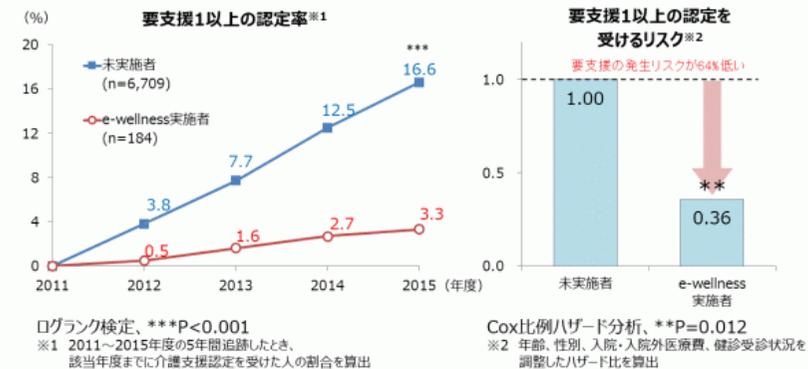
新潟県見附市における健康づくり教室継続者医療費の推移



つくばウエルネスサーチウェブサイトより

新潟県見附市での導入事例

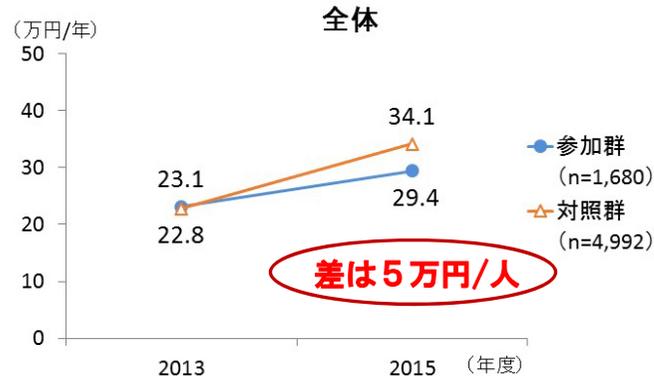
【新潟県 A市・60-89歳の国保・後期高齢加入者】
e-wellness実施者は要支援認定の発生率が低い



つくばウエルネスサーチウェブサイトより

広域連携6自治体での健幸ポイント導入事例

健康ポイントの実施による医療費抑制効果



マン・ホイットニーのU検定、n.s.

つくばウエルネスサーチウェブサイトより

健幸政策SWC-AIが行うこと

▶住民の7割のデータを使って、健康課題を分析・評価し政策化する



【具体的な施策の提案】

健康課題	施策	効果	効果	効果	効果
1. 健康ポイント導入	健康ポイント導入	健康ポイント導入	健康ポイント導入	健康ポイント導入	健康ポイント導入
2. 人材育成	人材育成	人材育成	人材育成	人材育成	人材育成
3. 健康増進	健康増進	健康増進	健康増進	健康増進	健康増進

効果の高い施策案がエビデンスに基づいて提案される。

国の政策方針に沿った事業を提案。

【予想される医療費削減額の提示】

取り組み領域	期待される効果額(万円)
特定健診受診率・特定保健指導受診率の向上	1,130,400
運動教室の実施(メタボリックシンドローム該当者及び予備者の減少)	40,112,250
栄養・食生活の改善(メタボリックシンドローム該当者及び予備者の減少)「食べる速度が遅い」	4,984,815
栄養・食生活の改善(メタボリックシンドローム該当者及び予備者の減少)「週3回以上朝食を欠かしている」	5,538,482
栄養・食生活の改善(メタボリックシンドローム該当者及び予備者の減少)「週3回以上就寝前に夕食をとっている」	5,684,211
糖尿病者の重症化予防	40,000,000
糖尿病者の重症化予防	320,000,000
個人へのインセンティブの提供の実施	210,015,000
個人への分かりやすい情報提供の実施	107,436,000
重複薬品の減少	230,000,000
後発医薬品の使用割合の向上	200,000,000
喫煙率の減少	470,206,375

つくばウエルネスサーチ「健幸政策SWC-AI」パンフレットより

健幸政策SWC-AIが行うこと

▶コンサル費用は580万

- ヘルスアップ事業補助金、地方創生交付金 などの活用が可能
- 鋸南町一般職員の人件費約1人分
- 他自治体の事例を単純に当てはめると、無関心層のプログラム参加116人で医療費削減580万円

▶健康施策だけでなく「まちづくり」

- 自然とウォーキングしてしまうような環境整備
- インセンティブの導入(地域通貨ポイント)

【地域通貨ポイント】

各種行政の行事・イベントなどでポイントを付与
 ・公共施設利用料、公共交通料金として利用
 ・町内事業者、店舗等での使用
 ▶内需の拡大・公共施設等の利用促進
 →町の活性化につながる

▶職員の負担を軽減

- 経験や能力によらない
- 効果的な事業の立案が可能

【メリットとして考えられること】

- 専門職の世代交代にも有効
- データを身近なものとして活用(地区単位ごとのデータ分析が可)
- 効果の確認されている事業を効率よく実施できる
- マンパワー・予算規模に合わせた事業の実施
- 既存事業の見直し・効果判定など▶PDCAサイクルの効率化

まとめ

- 人口減少は避けられない。
- 職員不足も避けられない。
 - より効果的に業務を行う必要がある
- AI・ICTの活用は人材不足になる自治体にこそ不可欠である。
 - 積極的な導入
- 事業の実施にあたっては全庁的な取り組みも必要
 - 地域通貨の導入
 - 課の枠をこえたチーム編成▶フレキシブルな職員配置